

ID No.	135
研究課題名	難治性固形がんに対する新規がんペプチドワクチン療法の開発研究
研究代表者	藤山 佳秀 （滋賀医科大学・理事）
研究組織	
受入教員	釣田 義一郎 （東京大学医科学研究所・講師）
研究分担者	醍醐 弥太郎 （滋賀医科大学・教授）
	高野 淳 （滋賀医科大学・特任助教）
	寺本 晃治 （滋賀医科大学・特任講師）
	湯地 晃一郎 （東京大学医科学研究所・特任講師）
	安井 寛 （東京大学医科学研究所・特任講師）
	松田 浩一 （東京大学医科学研究所・准教授）
	中村 祐輔 （東京大学医科学研究所・特任教授）
研究報告書	
(1) 肺がんの分子病態の解明と肺がんペプチドワクチンの開発 複数の難治固形がんで高頻度・高レベルに発現する oncoantigen を同定してその臨床応用に向けた機能解析を実施した。これらの研究成果の一部については、第 73 回日本癌学会総会(10 題)、第 12 回日本臨床腫瘍学会学術集会(3 題)、2014 米国癌学会(AACR:3 題)、2013 米国臨床腫瘍学会(ASCO:2 題)、第 59 回日本人類遺伝学会大会(2 題)で発表した。また複数の oncoantigen(LRRC42, LY6K 等)につき、発がん機構に関する詳細な機能解析やバイオマーカーとしての検証、がんワクチン療法の適応がん種拡大に向けた検討を行い国際雑誌に論文発表した(成果発表欄参照)。 (2) 肺がんペプチドワクチンを用いた臨床試験の実施と安全性・免疫学的反応の検証 肺がん患者を対象とする下記 3 課題の第 1 相臨床試験を滋賀医科大学において実施した。 ・標準療法不応の非小細胞肺癌に対する HLA-A24 拘束性新規腫瘍抗原エピトープペプチドを用いた腫瘍特異的ワクチン療法 ・標準療法不応の非小細胞肺癌に対する HLA-A02 拘束性新規腫瘍抗原エピトープペプチドを用いた腫瘍特異的ワクチン療法 ・標準療法不応の小細胞肺癌に対する HLA-A24 拘束性新規腫瘍抗原エピトープペプチドを用いた腫瘍特異的ワクチン療法	